

林兼産業株式会社

2019年3月期 決算説明資料

2019年5月14日

2019年3月期実績		
連結損益計算書の概要	・・・	2
セグメント別の売上高・営業利益	・・・	3
貸借対照表の概要	・・・	4
キャッシュ・フロー計算書の概要	・・・	5
業績の推移	・・・	6
四半期業績の推移	・・・	7
セグメントの状況	・・・	8-13
連結損益計算書	・・・	14
第四次中期経営計画の取組み	・・・	15
売上高・利益計画	・・・	16

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	43,274	44,401	1,126	46,300	▲1,898
営業利益	1,014	1,104	90	660	444
経常利益	1,150	1,275	125	830	445
親会社株主に帰属する 当期純利益	817	864	47	560	304

前期との主な変動要因

売上高	養魚用飼料や機能性食品の売上が増加したことなどにより増収
営業利益	売上増加や豚肉の利益率改善などにより増益
経常利益	営業利益の増加や支払利息の減少など営業外収支の改善により増益

セグメント別の売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	43,274	44,401	1,126	46,300	▲1,898
水産食品事業	4,496	4,746	250	4,900	▲153
畜産食品事業	20,238	19,987	▲251	21,300	▲1,312
飼料事業	16,569	17,382	812	18,100	▲717
その他の事業	1,970	2,285	315	2,000	285
営業利益	1,014	1,104	90	660	444
水産食品事業	339	248	▲91	270	▲21
畜産食品事業	561	593	31	600	▲6
飼料事業	990	1,057	67	750	307
その他の事業	161	219	58	130	89
消去又は全社	▲1,038	▲1,014	24	▲1,090	75

貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2018年3月期末	2019年3月期末	
			増減
流動資産	13,154	13,766	611
固定資産	16,091	16,363	272
資産合計	29,246	30,129	883
流動負債	14,614	14,428	▲185
固定負債	6,913	7,045	132
負債合計	21,527	21,473	▲53
純資産合計	7,718	8,655	936
負債純資産合計	29,246	30,129	883

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

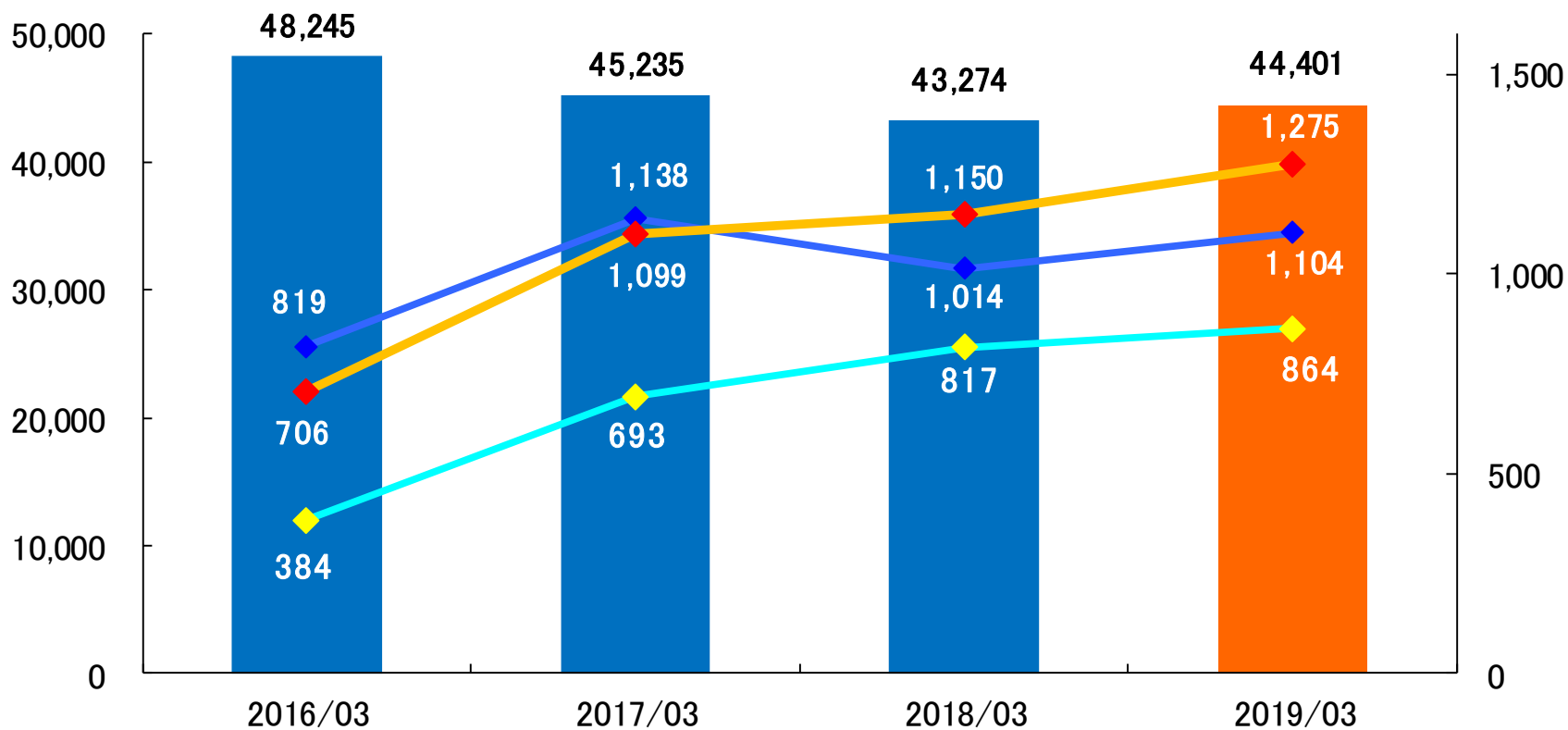
	2018年3月期	2019年3月期	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,291	887	▲1,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲398	▲861	▲462
フリー・キャッシュ・フロー	1,892	26	▲1,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,213	▲564	649
現金及び現金同等物の増減額	675	▲536	▲1,211
現金及び現金同等物の期首残高	2,090	2,765	675
現金及び現金同等物の期末残高	2,765	2,229	▲536

業績の推移

■ 売上高(左軸) ◆ 営業利益(右軸) ◆ 経常利益(右軸) ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益(右軸)

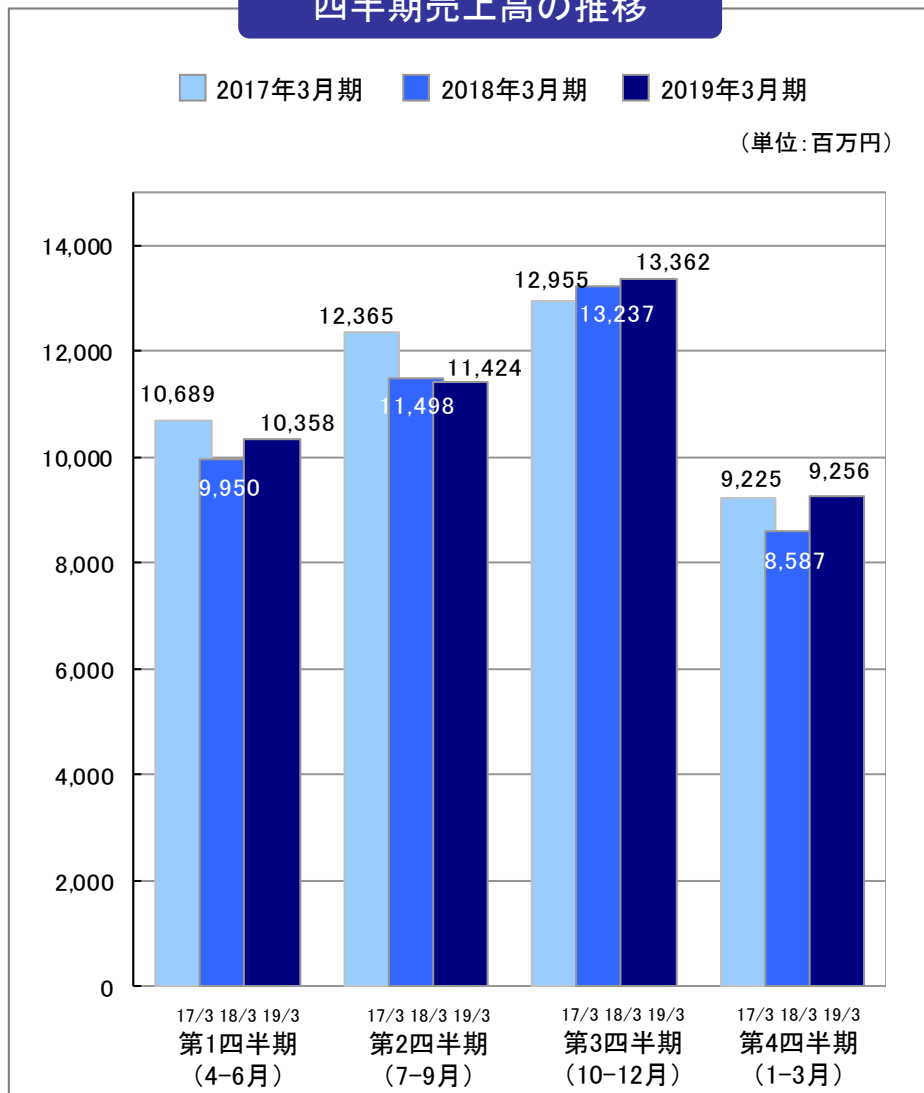
(単位:百万円)

(単位:百万円)

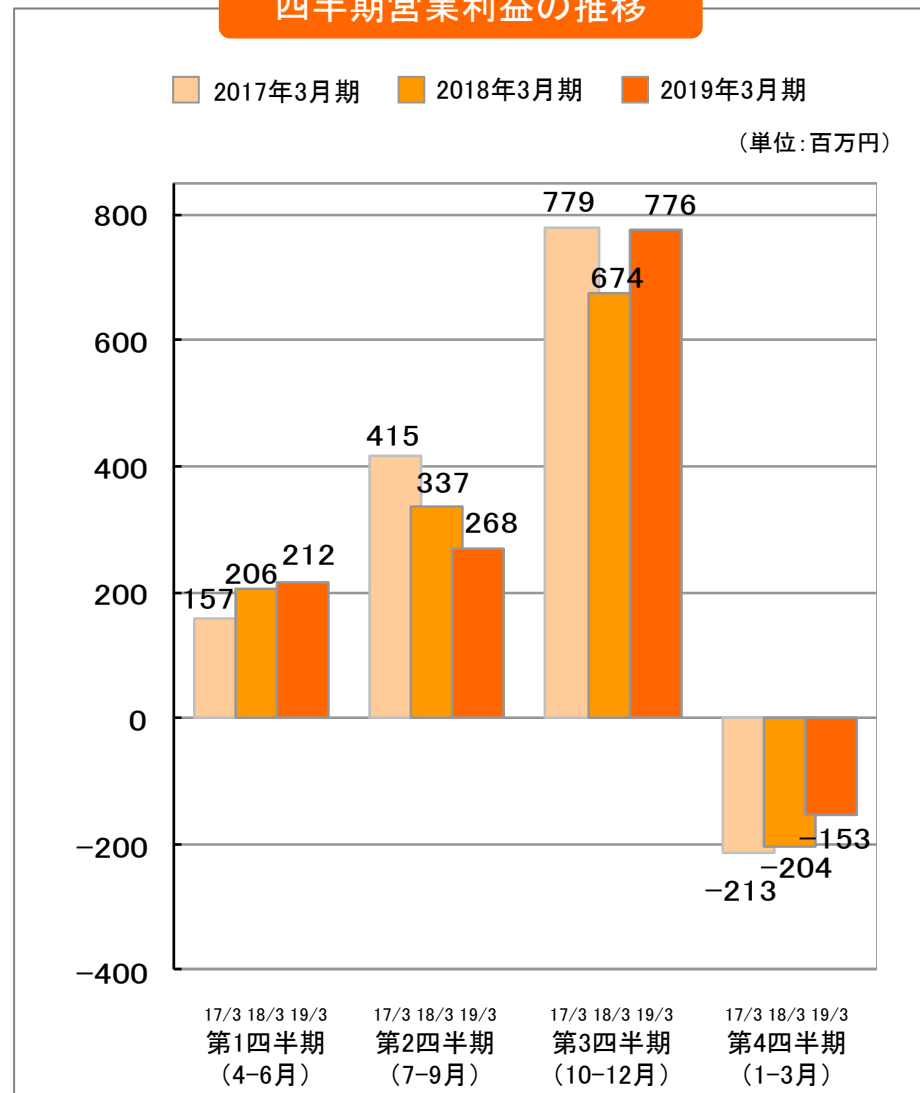


四半期業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



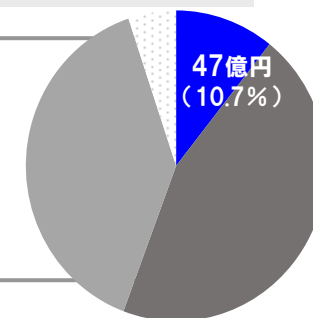
四半期営業利益の推移



概況：「カツオエラスチン」など機能性食品素材の販売数量の増加により増収

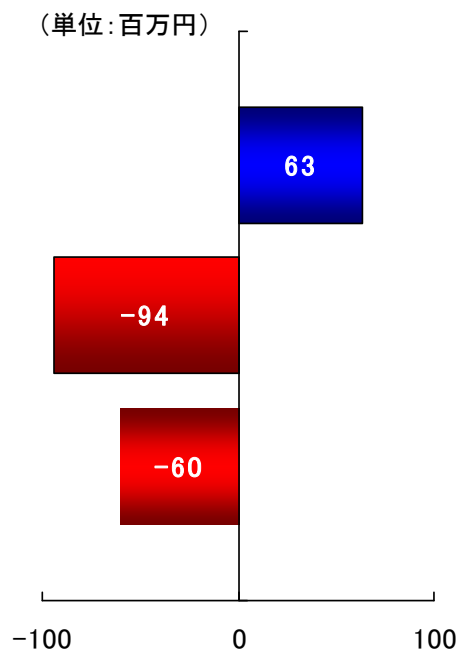
水産食品事業

売上高 **47億46百万円**（前期比 5.6%増）
 営業利益 **2億48百万円**（前期比 26.9%減）



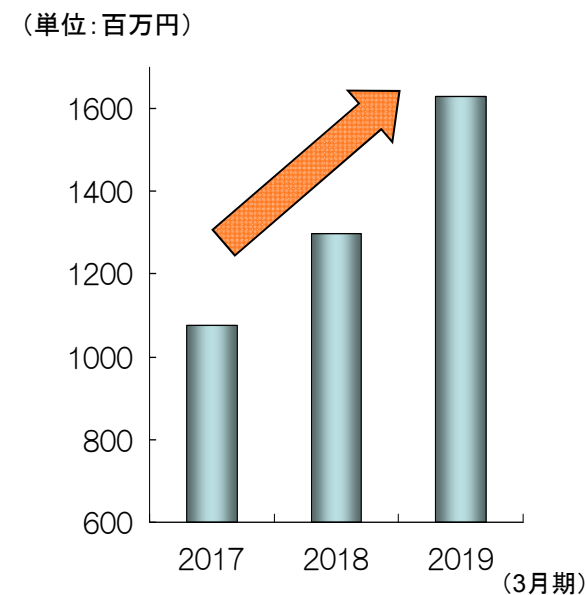
営業利益の増減要因

営業利益の減少 ▲91百万円



- 機能性食品の販売数量増加
- すり身など主原料価格の高値推移
魚肉ねり製品の販売数量減少
- 機能性食品素材製造ライン更新
に伴う一時費用発生

機能性食品売上高推移

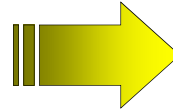


水産食品事業

施策

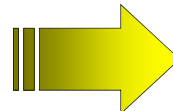
状況

魚肉ねり製品の収益改善



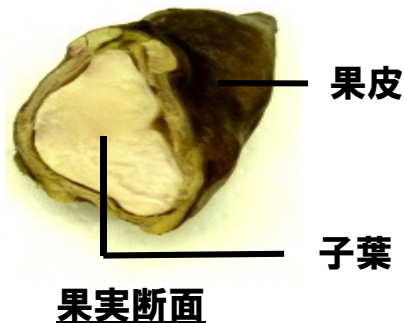
- ・ 中国、香港向け輸出数量増加
- ・ 主原料価格の高値推移により減益
- ・ 販売価格改定への取り組み

機能性食品の事業基盤拡充



- ・ 機能性食品素材
 - : エラスチン生産ラインの能力増強により販売数量増加
(前期比 32.7%増)
 - : ヒシエキス(糖化ストレス対応素材)拡販
- ・ ソフミート : ウナギ蒲焼風など新製品を発売
大手給食会社向け販売数量増加
(前期比 11.8%増)
- ・ 和菓子 : 行事用和菓子など販売数量増加

トウビシの果皮 (ヒシエキス原料)

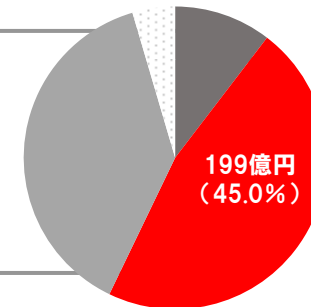


概況：食肉加工品・肉類の販売数量減少により減収も、豚肉の利益率改善により増益

畜産食品事業

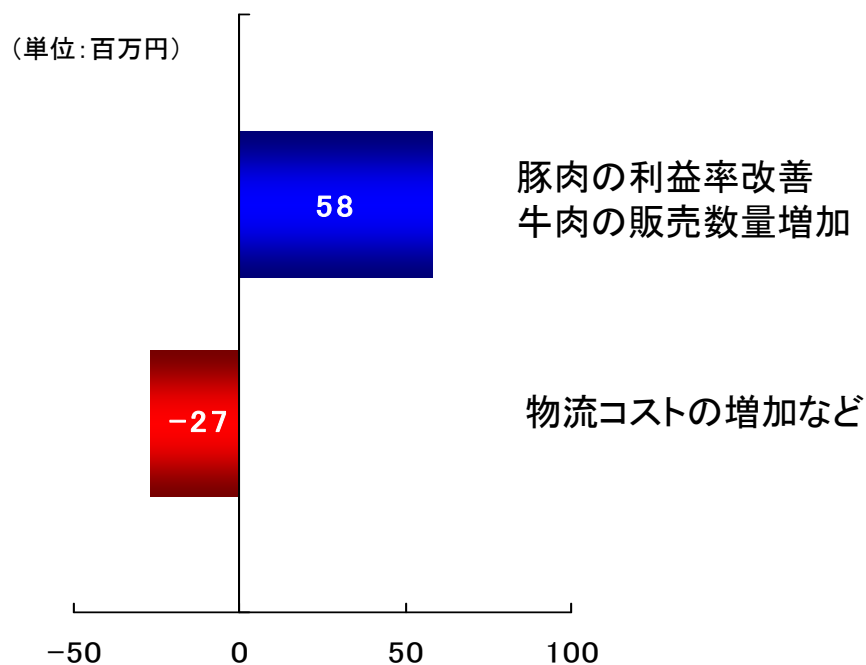
売上高 199億87百万円（前期比 1.2%減）

営業利益 5億93百万円（前期比 5.5%増）

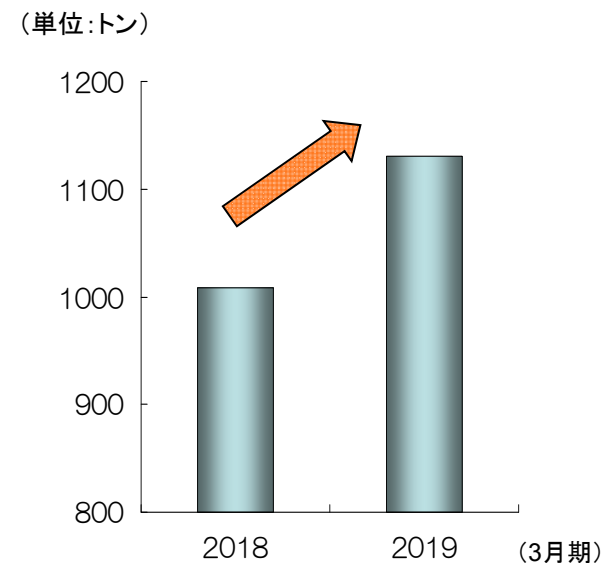


営業利益の増減要因

営業利益の増加 31百万円



牛肉販売数量推移

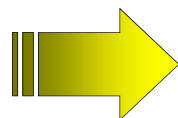


畜産食品事業

施策

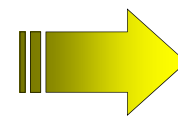
状況

加工食品販売および
食肉販売の強化拡大



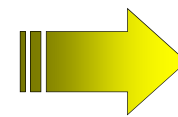
- ・ 豚肉の利益率改善
- ・ 牛肉の販売数量増加（前期比12.4%増）

下関第二工場および都城工場
の最適生産体制の構築



- ・ 特定加熱食肉製品(ローストビーフ)の製造ライン稼動

スターゼングループとの
連携強化



- ・ 協働販売の強化などにより取引数量増加



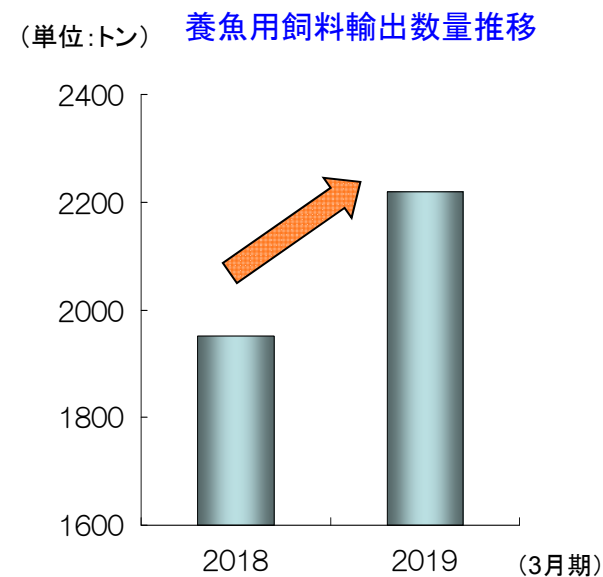
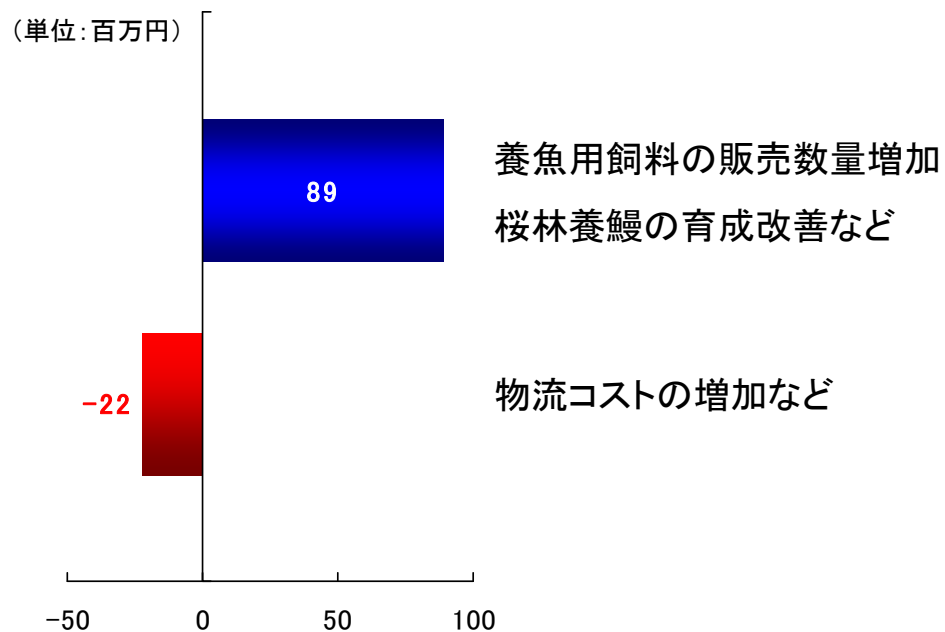
都城工場製 ローストビーフ

概況：養魚用飼料の販売数量増加や価格改定により増収



営業利益の増減要因

営業利益の増加 67百万円

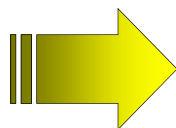


飼料事業

施策

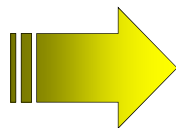
状況

養魚用飼料の販売強化

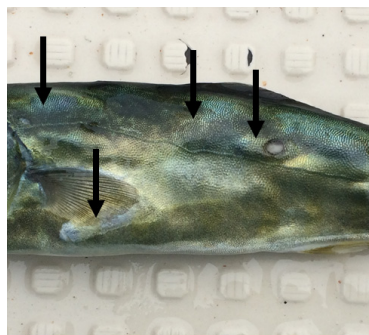


- ・輸出拡大(前期比 18.9%増)
- ・ベコ病(ブリ類)に対する予防法普及による販売サポート
- ・原料調達範囲の拡大(取引先の開拓強化)

水産物の収支改善



- ・桜林養鰻の育成改善による生産効率向上



(左) ベコ病に感染したブリ稚魚の体表

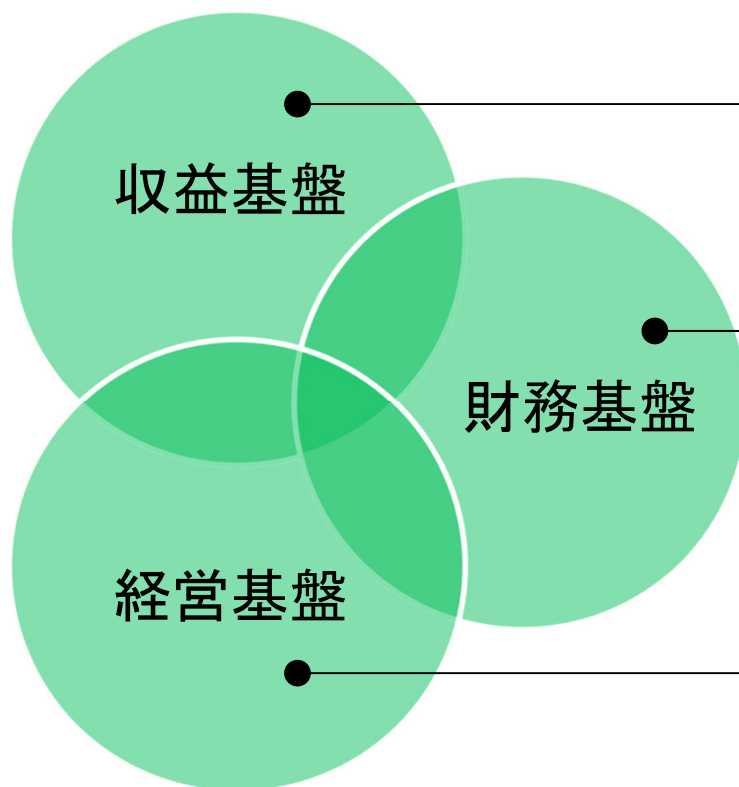
[ベコ病]
各種微胞子虫類が魚の体側筋肉に寄生して、体表に凹凸を呈する(いわゆる“ベコベコ”)になる疾病である。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	43,274	100.0%	44,401	100.0%	1,126		
売上原価	36,191	83.6%	37,214	83.8%	1,022	0.2%	
販売費及び一般管理費	6,068	14.0%	6,082	13.7%	13	▲0.3%	
営業利益	1,014	2.3%	1,104	2.5%	90	0.1%	
受取配当金	71		68		▲3		
その他	280		282		1		(百万円)
営業外収益合計	352		350		▲2		営業外収益 ▲2
支払利息	199		155		▲44		営業外費用 ▲36
その他	16		24		7		営業外収支改善 +34
営業外費用合計	216		179		▲36		
経常利益	1,150	2.7%	1,275	2.9%	125	0.2%	
特別利益	3		225		222		
特別損失	93		310		217		
税金等調整前当期純利益	1,060		1,190		129		
法人税等	203		267		63		
非支配株主に帰属する当期純利益	39		58		18		
親会社株主に帰属する当期純利益	817	1.9%	864	1.9%	47	0.1%	

事業戦略



機能性食品の業容拡大
魚肉ねり製品の輸出強化、生産性向上
加工食品の最適生産体制確立
養魚用飼料の販売強化、水産物収支改善

有利子負債圧縮
在庫削減
成長事業への投資

社外取締役複数体制
経営の透明性確保
品質管理体制強化

売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2018年3月期実績	2019年3月期実績	2020年3月期計画
売上高	43,274	44,401	47,000
水産食品事業	4,496	4,746	5,400
畜産食品事業	20,238	19,987	21,800
飼料事業	16,569	17,382	17,700
その他の事業	1,970	2,285	2,100
営業利益	1,014	1,104	1,200
水産食品事業	339	248	470
畜産食品事業	561	593	660
飼料事業	990	1,057	990
その他の事業	161	219	120
消去又は全社	▲1,038	▲1,014	▲1,040
経常利益	1,150	1,275	1,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	817	864	940



林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先

林兼産業株式会社 管理本部総務部

TEL 083-266-0210

IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>